

海と日本PROJECT2025 むなかたSDGs教室

事業計画資料



2025年5月2日

世界文化遺産「神宿る島」沖ノ島は、島全体が信仰の対象であり、航海の安全を祈って、国家的な祭祀が営まれた歴史を持ちます。しかし近年、豊かな漁場が広がる島の周辺海域に膨大な量のごみが流れ込み、漁業や生態系を脅かす要因になっています。海洋ごみの問題は、地球規模の課題であると同時に、それぞれの地域で住民主体の息の長い取り組みが欠かせません。そのためには、次世代を担う子どもたちがこの問題を「自分ごと」として捉え、解決に向けた取り組みを考える環境が必要です。

海を守ろうむなかた実行委員会は、“世界遺産の海で考える”をキーワードに、地球規模の環境問題について宗像の地で考え、発信することを活動の目的とし、青少年の各年代に教育的なプログラムを導入しています。このプログラムで育む子どもたちの海への思いが地域に広がり、地域の「自分ごと」となれば、海はもっと美しくなると信じます。



宗像大社の鳥居、玄海灘の海、朝日の3つを表現。朝日の輝きが海面から鳥居へと筋を描く「光の参道」から、明るく楽しい教室という思いをシンプルに親しみやすいロゴにまとめています。

「むなかたSDGs探究」は、“海の世界遺産”を有する宗像市において、環境や食文化といった課題を生徒自ら見出し解決策を探る、地域一体型の学習プログラム。“海の世界遺産”の理解を深め、そこにある社会課題に取り組む過程で、主体性を磨き、地域アイデンティティを養い、そのアウトプットが地域に還元され、地域住民の活動にも波及する狙いを持つ。

【概要】

- 題材 : 世界遺産学習副読本「ふるさと宗像BOOK」の学習カリキュラム支援
- 時期 : 2025年9月～12月（計）
- 場所 : 宗像市内公立小学校・中学校
- 参加者 : 宗像市内の小中学生
- 内容 : 週に1回、50分1-2コマを8週間(=4-6回)にわたり授業を行う。海の世界遺産に関するテーマを各校で取り上げ、社会課題解決までの探究学習に取り組む

【目標】

- 参加者 : 学校数5校、計800名（児童250名、生徒500名、教員50名）
- “海の世界遺産”探究学習の教員研修の実施（自走性、拡張性の向上）
- 生徒による海の課題を研究した解決策の提案（ppt形式）
- 生徒による“海の世界遺産”PR動画の作成（MP4形式）
- 参加者アンケート調査による海の社会課題に対する主体性、探究性、協働性、社会性項目の上昇



【目的】

- 様々な分野で活躍するフロンランナーとの交流により、社会に対する視野を広げるとともに興味・関心のある社会テーマや社会課題に出会う
- ファシリテーターのサポートの元、講師に師事を仰ぎながらテーマ・課題に関する探究学習に取り組むことで主体的・対話的で深い学びを得る
- 探究学習の一連のプロセスを系統立てて学ぶことで、今後、探究学習を継続・発展的に取り組むための”型”を学ぶ



【講義の流れ】

01

導入講義：2コマ

オリエンテーション、講師の紹介、アイスブレイク、導入としての個人/グループワーク

02

本講義：2コマ

講師から出題された課題に関するグループワークに取り組む。講師やファシリテーターよりフィードバックを受ける。

03

グループワーク：4コマ

スライド作成、グループワーク、プレゼンテーションの練習 等

04

クロージング講義：2コマ

各チームが発案した解決策をプレゼン。決勝チームは講師に対して発表。講師からのフィードバックを行う。

【スケジュール】

No.	日程	担当	対応概要	詳細内容
1	5月中	学校 ミエタ	顔合わせ・ヒアリング	学校担当者と直接お話をさせていただき、 学校の様子や現行カリキュラムについてヒアリング
2	5月中	学校	日程検討	ご提案のコマ数について、学校の実施日程候補をいただく
3	6月中	ミエタ	実施概要の調整・決定	いただいた希望の中から、実施日程と併せて調整・決定
4	(授業日に 合わせて調整)	学校 ミエタ	授業実施に向けた 事前お打ち合わせ	プログラム概要・流れを学年ご担当の教員様にご案内
5	(授業日に 合わせて調整)	ミエタ	教材送付	児童生徒用ワークシート、教員様用ワークシート、進行表を提出
6	9月以降想定	ミエタ	第1回授業実施	授業内でオリエンテーションを実施し、全スケジュールで進めていく 流れの説明と、アイスブレイクを行う
7	—	ミエタ	第2~10回(仮)授業実施	—
8	—	ミエタ	事後アンケート実施	児童生徒用・教員様用アンケートご回答

- プログラム終了後に一連の取り組みをフィードバックする教員向けの研修会の実施を予定する
(リアルまたはオンライン、録画視聴などを検討)

事業内容2 むなかたSDGs教室 —“世界遺産の海で学ぶ”体験学習イベント

時期：2025年8月10日(日)

会場：福岡県立少年自然の家「玄海の家」

募集：7月1日(火)～7月24日(木) ※予定

参加者

小学生：40名

学生ボランティア：40名

※雨天決行、台風接近時は中止

Step1.魚さばき体験



宗像漁協の協力を得て、魚の内臓やエラを取り除くさばき体験を行う。

実施時間：2時間程度

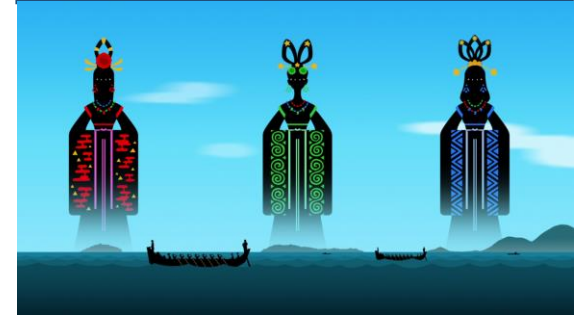
Step2.ビーチクリーン



一般社団法人シーソonzからの協力を得て、清掃活動を実施します。その後、アクセサリ作りなどに取り組む。

実施時間：2時間程度

Step3.ワークショップ



海ノ民話アニメーションの放映と“海の世界遺産と海洋問題”に関して意見を交わすワークショップを行う。

実施時間：1時間程度

- 学生ボランティアの募集は、むなかたボランティアシステムとアースプロジェクト福岡を通じて行う。
- 保護者の見学は不可。原則、現地集合・現地解散。ただし、学生ボランティアについては貸切バスを手配し、送迎を行う。

- 内容
 - ①記者講座 2025年8月上旬の1日
 - ②イベント取材 2025年8月10日(日)9:00-17:00
 - ③原稿執筆・校正 2025年9月～10月
 - ④WEB公開 2025年10月以降
- 協力 一般社団法人アースプロジェクト福岡
- 参加者 福岡市内大学生数名（先着5名募集）



- 時期 : 2025年10月上中旬
- 場所 : 宗像大社や市内中学校などを想定
- 参加者 : 県内大学生20人程度、中学生100～200名程度
- 内容 : 宗像市の海洋環境について考えるワークショップと企画アイデアの意見交換



【公式サイト】 読売新聞社運営サイト「ささっとー」に特設ページを作成
プロジェクトの様子を発信する

<https://sasatto.jp/pro/umimunakata/>

<PC>



◁▽バナーをクリック（タップ）すると、
海と日本プロジェクトの特設コーナー
にリンクします。

<スマホ>



<配信記事一覧>

むなかたSDGs教室



むなかたSDGs教室



【動画】

夏の体験イベントと探究学習プログラムの様子取材した10～15分程度の動画2本を制作する



【パノラマチラシ】 新聞サイズ表裏8ページのパノラマチラシを8万部作成し、朝刊折込みと近隣への配布を行う



その他施策

【パネル展示】 イオンモール福津で開催されるサステナフェスに合わせた展示を予定（9月頃？）

<「むなかたSDGs教室」海の体験イベントの報告>



<「むなかたSDGs探究」探究学習プログラムの報告>



【むなかた子ども大学】 読売新聞社が参加し、海や世界遺産をテーマとした記者体験を実施



<概要案>

- 企画名 むなかた子ども大学—新聞記者コース／海の課題取材しよう—
- 日時 2025年12月13日(土)
- 場所 未定 ※昨年は少年自然の家「玄海の家」
- 参加者 小中学生、学生ボランティア
- 内容案
 - 1 限目(40分) : 『新聞記者の仕事って何?』
 - 2 限目(40分) : 『マイクロプラスチックごみを知ろう・拾おう』
 - 昼食休憩—
 - 3 限目(40分) : 『A3用紙を使ったオリジナル新聞づくり—執筆編—』
 - 4 限目(40分) : 『A3用紙を使ったオリジナル新聞づくり—編集編—』



事業スケジュール

		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月～	2月	3月
探究	参画校調整	説明会	ヒアリング	授業計画	教材作成・送付						
	オリエンテーション					オリエン					
	ゲスト講義			ゲスト日程調整		ゲスト講義					
	グループワーク					グループワーク					
	プレゼン						プレゼン				
	宗像国際環境会議					分科会					
	研修会									研修会	
教室	内容協議	打合せ									
	募集・広報	チラシ	リリース	募集	取材記事	レポート					
	イベント実施			備品発注	イベント						
学生記者	学生記者募集			募集							
	記者講習			講習							
	原稿作成				取材	原稿作成	公開				
広報・その他	特設ページ作成	バナー作成・準備	公開		適宜取材記事公開						
	パノラマチラシ作成								印刷工程調整	原稿作成	印刷 配布
	動画作成				取材	編集	公開	取材	編集	公開	
	パネル展示					パネル展示					
	むなかた子ども大学				概要決定	募集素材		備品発注	イベント		